

樞密顧問官

窪田静太郎

樞密院議長男爵倉富勇三郎殿

昭和八年七月

日立案

書記官長

主筆

書記官

書記官

拓務省官制中改正ノ件外一件
審査報告

謹テ今回御諮詢、拓務省官制中改正ノ件及關

東廳官制中改正ノ件ヲ審査スルニ其ノ要旨ハ

左ノ如シ

第一 拓務省官制中改正ノ件

農林省本院ノ詢議ヲ經タル滿洲ニ於ケル日滿

合辦通信會社ノ設立ニ關スル協定ニ基キ近

リ設立セラルヘキ滿洲電信電話株式會社ノ

同協定ニ依リ滿洲國ト共ニ

業務ハ甫協定ニ依リ帝國政府ニ於テ之ヲ

監督スヘキモノナルカ故ニ本條ヲ以テ拓務

省官制ノ一部ヲ改正シテ拓務大臣ノ職權事

項ニ右滿洲電信電話株式會社ノ業務ノ監督

ヲ加ヘ(第一條)更ニ右監督ニ關スル事務ヲ殖産

機密院

加へ

局ノ分掌事項ニ屬スルキモノヲ定ムト

ス(第六條)

第二 開東廳官制中改正ノ件

予前記滿洲電信電話株式會社ノ業務ニ對スル

現地

第十次ノ監督ハ開東長官ヲシテ之ニ當ラシ

ムルヲ適當トスルニ由リ本案ヲ以テ開東廳

改正ヲ加へ

官制中ニ開東長官ハ滿洲電信電話株式會社

ノ業務ヲ監督スル旨ヲ定ムトス(第二條第二項)

按スルニ本案ノ二件ハ孰レモ滿洲電信電話株

所在

式會社ニ對スル監督權ヲ規定スル為必要ナル

榎 密 附

官制改正ヲ行ハムトスルモノニシテ別ニ支障

ノ虞ナキニ由リ此ノ儘可決セラレ然ルヘシト

思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和八年七月十三日

書記官長

議長宛

權
密
院

Blank lined area for text on the right page.

昭和八年七月 日立案

書記官長

主筆

書記官



書記官



關東州及南滿洲鐵道附屬地電氣通信令
審査報告

謹テ今回御諮詢ノ關東州及南滿洲鐵道附屬地

電氣通信令ヲ審査スルニ從來關東州及南滿洲